

201216 和歌山一A の収束と高知市介良の収束について

長く懸案だった和歌山一A の収束が いよいよ最終段階に来たように見えます。

約 1 年かけた緑色の大きな山は 増減を繰り返しながらゆっくりと減衰してきており、その最終段階になって データの収束の最終段階でときどき出るような 1 本立ちが見られます。このような収束直前の 1 本立ちはしばしばありますが 今回は少し幅のある 1 本立ちであり、珍しいものです。

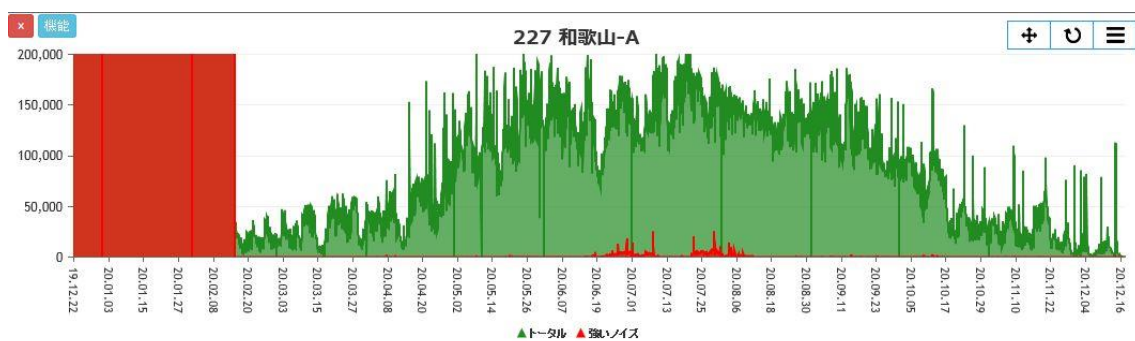
またこちら長期に続いてきた高知市介良のデータが ここ 2~3 日で急な減衰をしてきています。和歌山一A のような大きな山でなく、急な減衰のため、2016 年の熊本地震の前兆のような長い収束ではないことから 和歌山一A の大きな山の収束に何か呼応したようなデータのように思われます。

和歌山一A の収束だけで $M6.2 \pm 0.5$ ($M6.7 \sim 5.7$) を考えていますが 高知市介良のデータを連動=ある意味同期と考えると震源域は 紀伊水道の可能性が高いと思われます。

昨日が月齢 0 の新月でいまはそのトリガー内なので大地震が比較的起きやすいことから次のように予想します。

震源域：和歌山県沖、紀伊水道、地震の規模： $M6.2 \pm 0.5$ 、発震日：今日より数日近くにお住まいの方は十分ご注意ください。

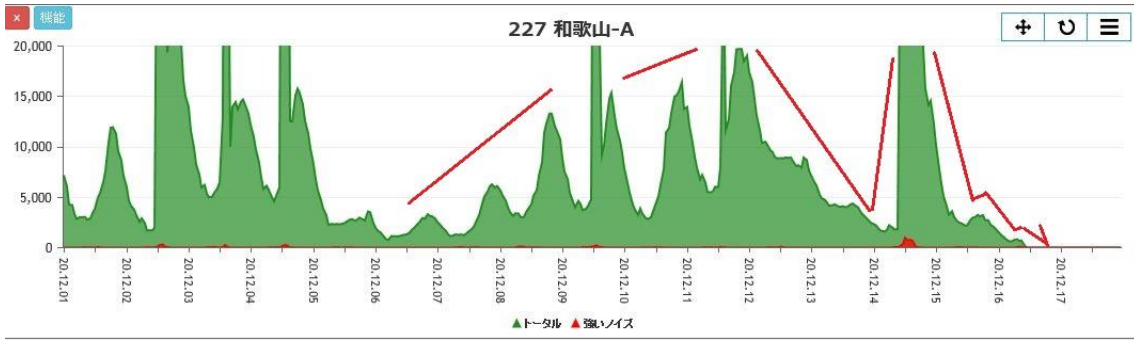
和歌山一A 360 日データ



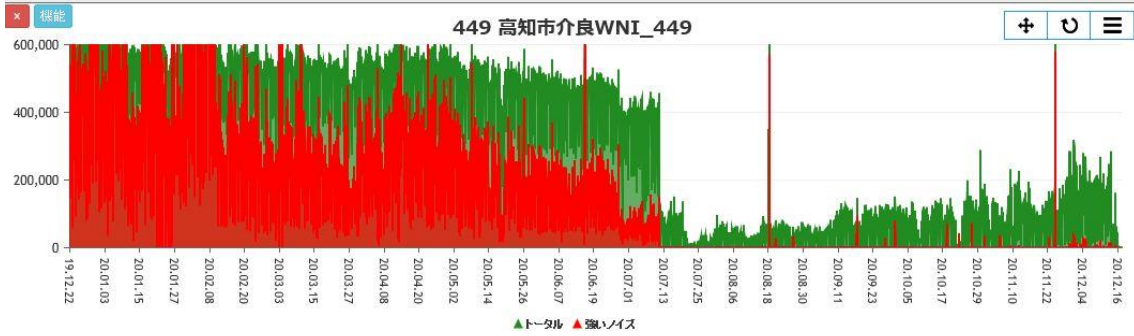
和歌山一A 30 日データ 収束の最終段階でときどき出るような 1 本立ちが見られる。



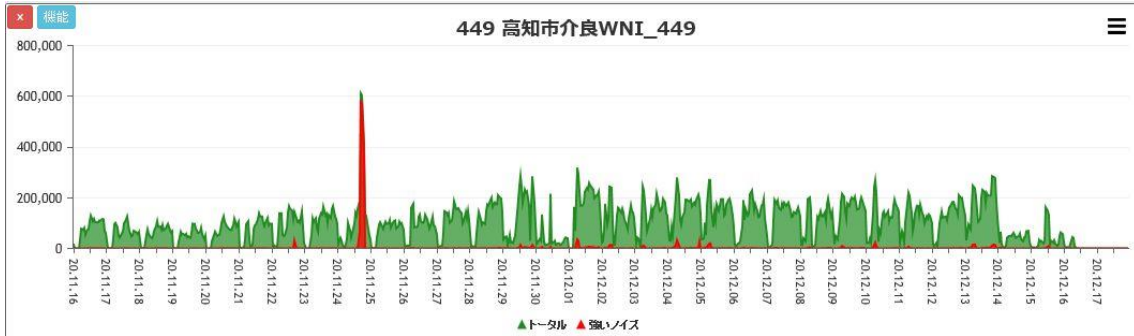
和歌山一A 15 日データ リバウンド後、急な減衰になる



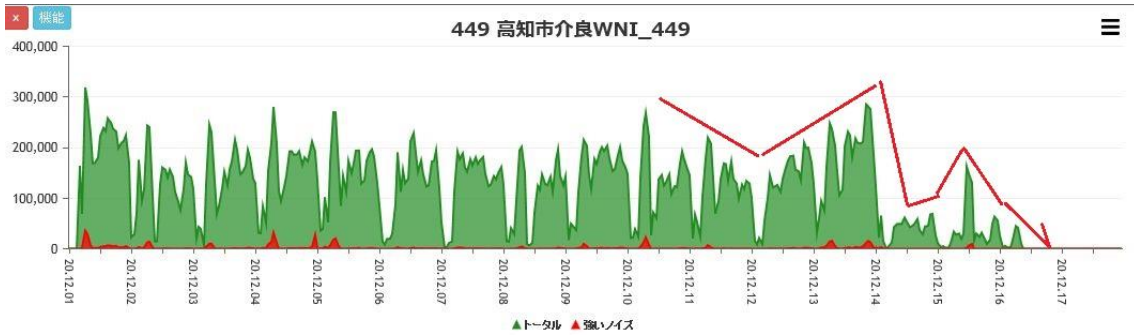
高知市介良 360 日データ



高知市介良 30 日データ



高知市介良 15 日データ 急な減衰が見られる。



12月の月齢

←PREV 2020年12月の月齢 NEXT→

2020年 12月 表示

日	月	火	水	木	金	土
		1 16	2 17	3 18	4 19	5 20
6 21	7 22	8 23	9 24	10 25	11 26	12 27
13 28	14 29	15 0	16 1	17 2	18 3	19 4
20 5	21 6	22 7	23 8	24 9	25 10	26 11
27 12	28 13	29 14	30 15	31 16		